

緊急時報告データ入力プログラム
オペレーションマニュアル

令和4年6月

目次

1.	動作環境	1
2.	起動と終了	5
3.	環境設定	6
4.	調査票作成の三つの方法	11
4.1	調査票の新規作成	11
4.2	前回入力情報を利用した編集	11
4.3	調査票ファイルの直接指定	12
5.	調査票入力画面	13
5.1	《画面の主な構成》	13
5.2	《入力の主な構成》	14
5.3	《エラー画面の主な構成》	15
5.4	《印刷プレビュー画面の主な構成》	17
5.5	《バージョン確認画面の主な構成》	17
5.6	《CSVファイルの入出力》	18
6.	各調査票入力画面	19
6.1	原油船積計画《週次》	19
6.2	石油ガス船積計画《週次》	20
6.3	原油船舶輸送状況《週次・日次》	21
6.4	石油ガス船舶輸送状況《週次・日次》	22
6.5	石油輸入実績《週次・日次》	23
6.6	石油輸出実績《週次・日次》	26
6.7	製油所原油処理・生産・受入・払出量《週次》	29
6.8	油槽所等石油製品・半製品在庫量《週次》	30
6.9	製油所等石油在庫量《週次》	31
6.10	製油所等原油処理・石油在庫量《日次》	32
7.	圧縮機能	33
8.	メール送信画面	36

1. 動作環境

(1) 動作可能なシステム環境

Microsoft Windows 10 で最新のサービスパックまたは修正パッチが適用されていること。

また、プリンタが接続され、プリンタドライバがインストールされていること。

(2) 必要なファイル

緊急時情報入力用プログラムを実行するためには、以下のソフトが必要です。

資源エネルギー庁ホームページよりインストール下さい。

- ・ setup.exe (緊急時報告データ入力プログラム)
- ・ Setup1.msi (インストール用プログラム)

(3) プログラム内で使用するファイル

緊急時情報入力用プログラムを実行するためには、以下のマスタファイル一式が必要です。

「緊急時報告データ入力プログラム用マスタ」中身

- ・ タンカー.csv
- ・ 企業.csv
- ・ 企業事業所.csv
- ・ 供給者.csv
- ・ 契約期間.csv
- ・ 原油油種.csv
- ・ 国地域.csv
- ・ 積出港.csv
- ・ 用船区分.csv
- ・ 船舶現在位置.cod
- ・ 輸出種別.cod
- ・ 輸入種別.cod
- ・ 液化ガス.cod
- ・ 製品油種.cod

上記のマスタファイルを任意フォルダに格納し、当フォルダを緊急時情報入力用プログラム起動後に、環境設定から指定してください。(P6の設定です)

(4) 緊急時情報入力用プログラムが作成するファイル

緊急時情報入力用プログラム更新時に、以下のファイルをデータフォルダに作成します。

《週次》

- KIyyyyymmddKKK-w0a.csv (原油船積計画)
- KIyyyyymmddKKK-w0b.csv (石油ガス船積計画)
- KIyyyyymmddKKK-w01.csv (原油船舶輸送状況)
- KIyyyyymmddKKK-w02.csv (石油ガス船舶輸送状況)
- KIyyyyymmddKKK-w03.csv (石油輸入実績)
- KIyyyyymmddKKK-w04.csv (石油輸出実績)
- KIyyyyymmddKKK-w05.csv (製油所原油処理・生産・受入・払出量)
- KIyyyyymmddKKK-w06.csv (油槽所等石油製品・半製品在庫量)
- KIyyyyymmddKKK-w07.csv (製油所等石油在庫量)

《日時》

- KIyyyyymmddKKK-d01.csv (原油輸送状況)
- KIyyyyymmddKKK-d02.csv (石油ガス輸送状況)
- KIyyyyymmddKKK-d03.csv (石油輸入実績)
- KIyyyyymmddKKK-d04.csv (石油輸出実績)
- KIyyyyymmddKKK-d05.csv (製油所等原油処理・石油在庫量)

yyyy : 対象年

mm : 対象月

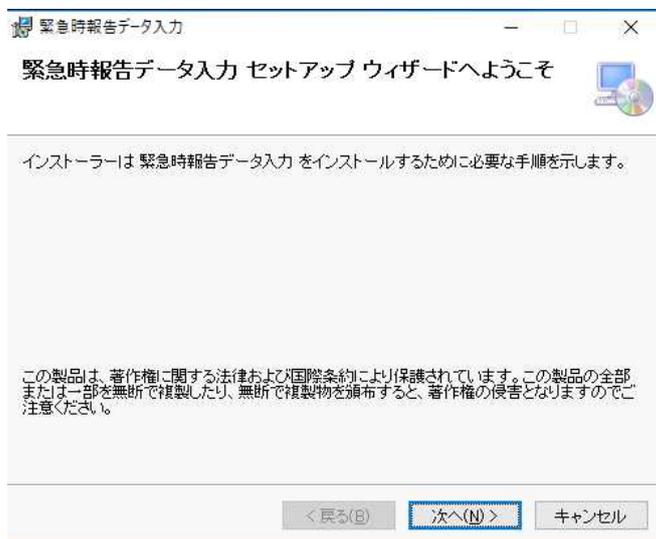
dd : 対象日

KKK : 報告企業コード

(5) インストール

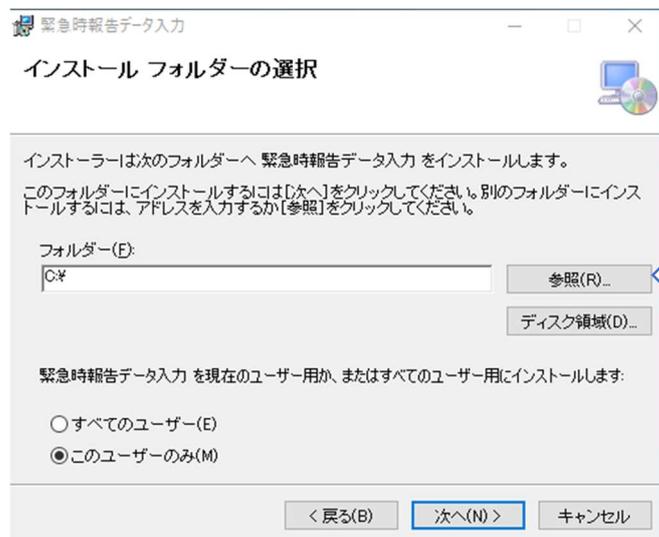
以下の画面にしたがってインストール下さい。

- ① 「Setup1.msi」 をクリックすると下記画面が出ます。



「次へ」をクリック

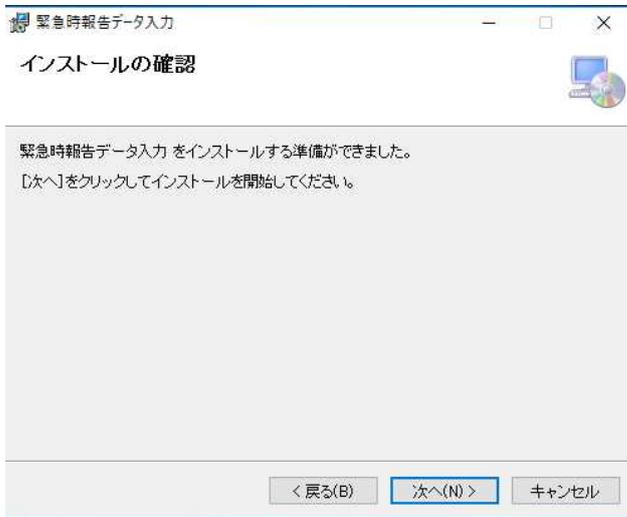
- ②インストールフォルダの選択



「参照」をクリックし、インストールするフォルダを選択（個人用フォルダをお勧めします）

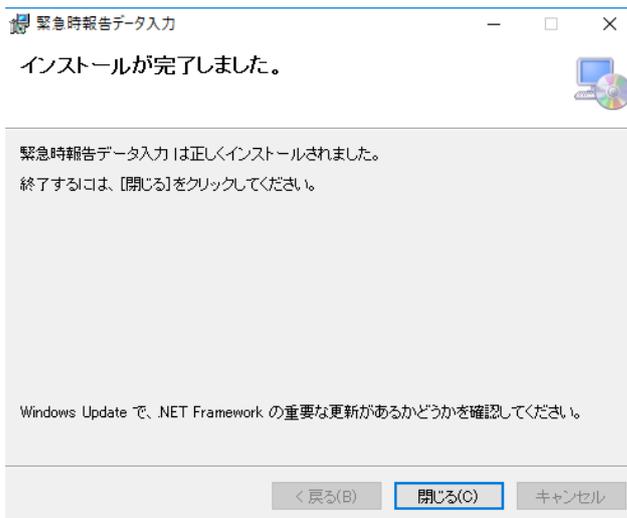
ユーザー選択はどちらでもOKですが（通常は「このユーザーのみ」で可）、システム環境により「すべてのユーザー」を選択して下さい。選択したら「次へ」をクリック

③インストールの確認



「次へ」をクリック

④完了



「閉じる」で終了

⑤デスクトップにアイコンが作成されます。



※途中「NET Framework」のインストールを求められた場合は、一端キャンセルし、「setup.exe」でインストールしてください。「NET Framework」のHP画面が途中で案内されます。

2. 起動と終了

(1) 起動方法

セットアップ後にデスクトップに作成されたアイコンから起動してください。



(2) 終了方法

終了ボタンか右上のクローズボタンから終了を行います。

編集中的数据があれば、確認メッセージが表示されます。

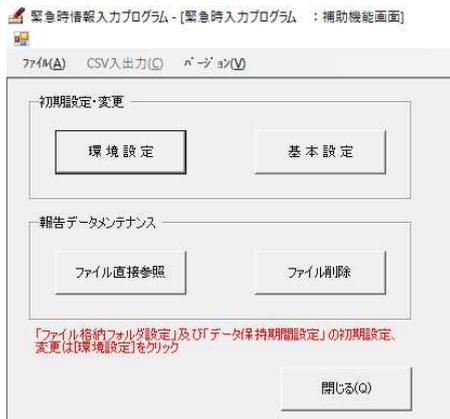
<メイン画面>

3. 環境設定

最初にメイン画面の補助機能ボタンを実行して、以下の設定を行ってください。

- ・ 環境情報
- ・ 基本情報

< 補助機能画面 >

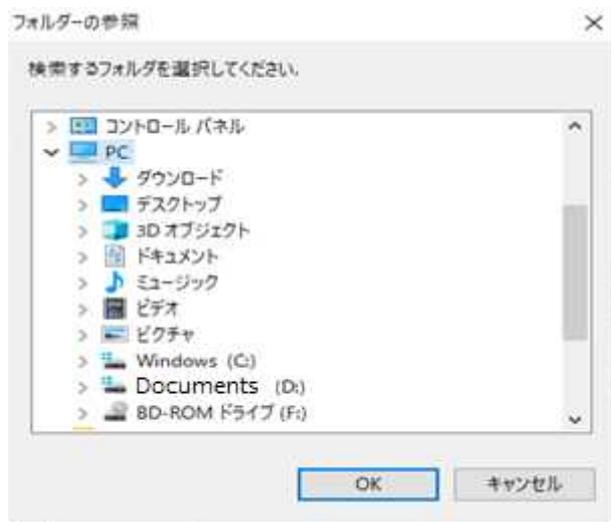


《環境設定》

緊急時情報入力したデータファイルの格納場所、マスタファイルの格納場所、データ保持期間の設定を行います。

< 環境設定画面 >





「データ格納フォルダ」

フォルダ参照ボタンを実行すると以下のダイアログが表示されますので、データを格納する場所を選択してください。（任意フォルダ）

「コードマスタフォルダファイル格納フォルダ」

フォルダ参照ボタンを実行し、P1の1. (3)のマスタファイルを格納した場所を選択してください。

《基本設定》

以下の設定を行います。

①報告者基本情報

- ・ 企業コード（企業名を選択すれば自動で入力されます）
- ・ 企業名（プルダウンで選択）
- ・ 申請義務者氏名
- ・ 作成者所属部署
- ・ 電話番号

②ユーザー設定（圧縮機能）

暗号化ファイルを行う場合に設定が必要です。

（「メール報告方式プログラム（メーラー機能無し、有り）」と同機能）

ここでのユーザーID、パスワードは、以前、当庁からお知らせしている電子申請ログイン時に入力する記号等です。（不明な場合はご連絡ください）

③メール設定（メール送信用）

暗号化作成したファイルの直接メール送信を行う場合に設定が必要です。

（「メール報告方式プログラム（メーラー機能有り）」と同機能）

ここでのユーザーID、パスワードは、各社メール設定等のものです。

※圧縮機能を使用しない場合は②③の設定は不要です。

< 基本設定画面 >

緊急時情報入力プログラム - [緊急時入力プログラム] : 基本設定画面

フアイ(A) CSV入出力(C) バージョン(V)

① 報告者基本情報

企業コード * : 998
企業名 * : 株式会社
申請義務者氏名 * : あああ
作成者所属部署 * : [C.V.V]
電話番号 * : 0000000

② ユーザー設定

報告ID : 石油動態報告
ユーザーID : *****
パスワード : *****
通信メールアドレス : ○○@.co.jp
作業フォルダ : [D:\Documents\緊急時報告報告番号化] ...

③ メール設定

SMTP :
ポート : 25
SMTP認証 : 認証なし POP Before SMTP SMTP Auth LOGIN
 SMTP AUTH CRAM-MD5 AUTH PLAIN
ユーザーID :
パスワード :
表題 : 【石油動態報告】
送信メールアドレス : toukei-houkoku@meti.go.jp

各項目を設定してください。 *印は必須項目です

OK キャンセル

※環境設定が正しく設定されていないと本画面は使用できません。

【設定項目の説明】

①報告者基本情報

項目	説明	設定例
企業コード	企業名を選択すると自動入力されます	000
企業名	プルダウンで選択します	XXXXX
申請義務者氏名	担当者の氏名を入力下さい	XXXXX
作成者所属部署	所属部署を入力下さい	XXX@XX.co.jp
電話番号	電話番号を入力下さい	03*****

②ユーザー設定

項目	説明	設定例
報告 ID	「石油動態報告」と入力下さい（固定）	石油動態報告
ユーザ ID	電子申請ログイン時に入力するユーザ ID と同じ	XXXXX
パスワード	電子申請ログイン時に入力するパスワードと同じ	XXXXX
返信メールアドレス	緊急時報告送信後、送信結果を受け取るメールアドレス	XXX@XX.co.jp
作業フォルダ	暗号化ファイルを格納する場所を指定します。 規定値はシステムがインストールされているフォルダです。 「…」ボタンをクリックすると「フォルダ選択ダイアログ」が表示されます。ここから選択してください。	暗号化

③メール設定

項目	説明	設定例
SMTP	メール送信に使用するメールサーバーの名前、又は IP アドレスを入力します。	smtpXX.co.jp IP:255.255.255.255
ポート	メール送信に使用するポートを設定してください。 この項目は、半角数値のみ入力可能です。  ポートの規定値は「25」です。	25
SMTP 認証	SMTP サーバーの認証方法を選択します。  SMTP 認証の規定値は「なし」です。	認証なし

<p>ユーザ ID</p>	<p>SMTP サーバーの認証に使用するユーザ ID を入力します。</p> <p> SMTP 認証で「認証なし」を選択した場合、入力必須ではありません。</p> <p> SMTP 認証で「認証なし」以外を選択した場合、須入力の項目です。</p>	<p>XXXXXXXX</p>
<p>パスワード</p>	<p>SMTP サーバーの認証に使用するパスワードを入力します。</p> <p> SMTP 認証で「認証なし」を選択した場合、入力必須ではありません。</p> <p> SMTP 認証で「認証なし」以外を選択した場合、須入力の項目です。</p>	<p>XXX99XXX</p>
<p>表題</p>	<p>メールの送信に使用する表題です。</p> <p> 「【石油動態報告】」が規定値です。</p>	<p>【石油動態報告】</p>
<p>送信メールアドレス</p>	<p>緊急時報告メールを送信するメールアドレスです。</p> <p>「toukei-houkoku@meti.go.jp」が規定値です。</p>	<p>toukei-houkoku@meti.go.jp</p>

4. 調査票作成の三つの方法

緊急時情報の調査票のデータを作成する際には、次の3種類の方法があります。

- ・ 調査票データを新規に作成して保存する方法 → 4.1
- ・ 前回入力したデータを元に、調査票データを作成する方法 → 4.2
- ・ 過去の調査票データを読み込んで、編集した後、今回分の報告用の調査票データとして保存する方法 → 4.3

4.1 調査票の新規作成

全く新しくデータを入力したい場合の操作手順を示します。

- (1) 週次、日次の選択を行います
- (2) ファイル対象年月日を選択します。(週次の場合は土曜日のみ選択可能)
- (3) 編集する種類の調査票と同じ階層にある新規ボタンをクリックし、データ入力を行ってください。

4.2 前回入力情報を利用しての編集

登録済みのデータを変更したい場合の操作手順を示します。

- (1) 週次、日次の選択を行います。
- (2) ファイル対象年月日をコンボボックスから選択します。コンボボックスには保存された

調査票の対象年月日が格納されています。

- (3) 編集する種類の調査票と同じ階層にある更新ボタンをクリックし、データ入力を行ってください。

4.3 調査票ファイルの直接指定

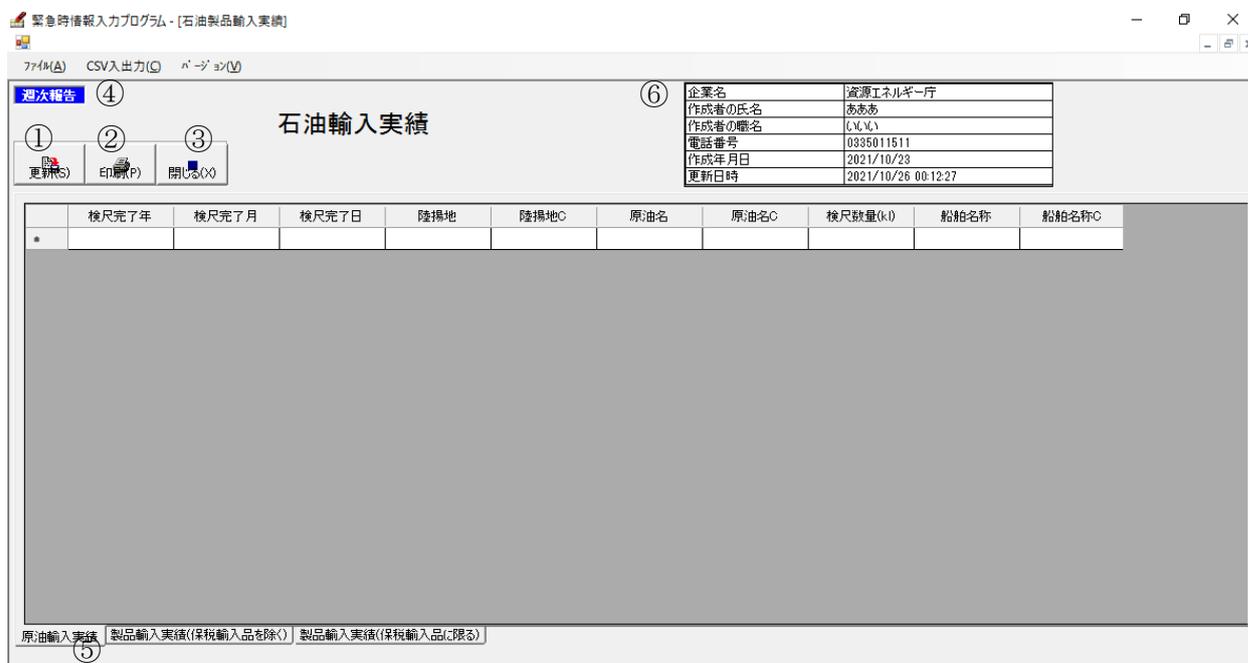
登録済みの CSV ファイルを指定してデータ編集したい場合の操作手順を示します。

- (1) 補助機能ボタンを実行して、次にファイル直接参照ボタンを実行します。
- (2) CSVファイルを選択するダイアログが表示されますので、データ編集を行うファイルを選択すると、データ編集画面に遷移します。

5. 調査票入力画面

調査票入力用画面でのデータ入力方法を原油・製品輸入実績を例に説明します。

5.1 《画面の主な構成》



- ①更新ボタン 入力データの更新及び保存を行います。エラーが発生した場合は、エラーを表示します。
データを未入力で実行した場合、ヘッダレコードのみを出力したファイルを作成します。
- ②印刷ボタン 現在のデータを印刷プレビュー画面で表示します。（図5を参照）
- ③閉じるボタン 画面を終了します。データの変更がある場合は終了確認メッセージを表示します。
- ④週次・日次 週次か日次かを表示します。
- ⑤タブ 石油輸入実績や、製油所等石油在庫量のように入力する欄が複数に分かれる調査票の場合、タブが複数表示されます。
入力するタブを切り替えて入力を行ってください。
- ⑥作成元ヘッダ 基本情報の内容を表示します。

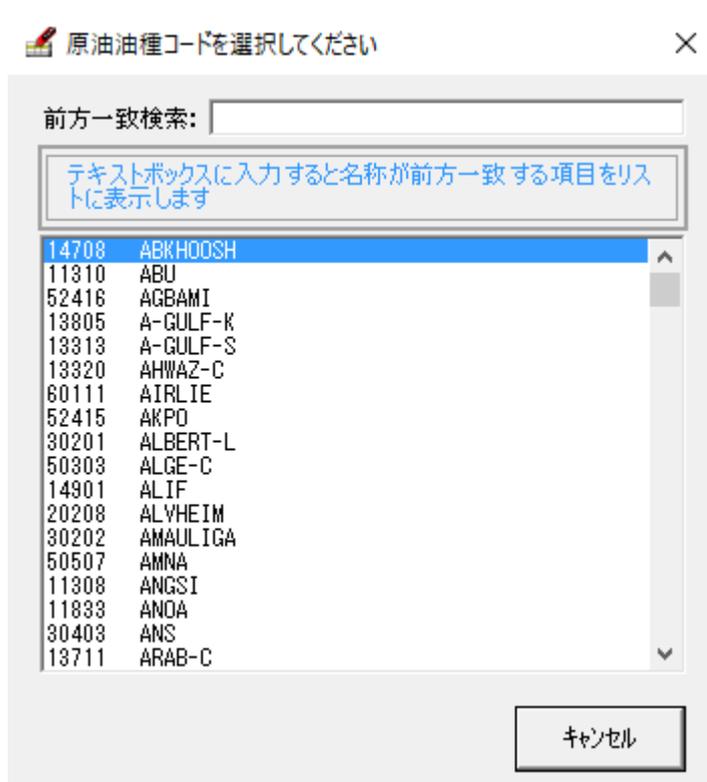
5.2 《入力の主な構成》

入力方法は【コード入力】【日付入力】【数値入力】【行削除】に大別されますのでこれを順に説明いたします。

【コード入力】

コード入力（コード、陸揚地C、積出港Cなど）では直接入力する方法と、該当欄を右クリックしてリストから選択する方法があります。

リストの表示例：

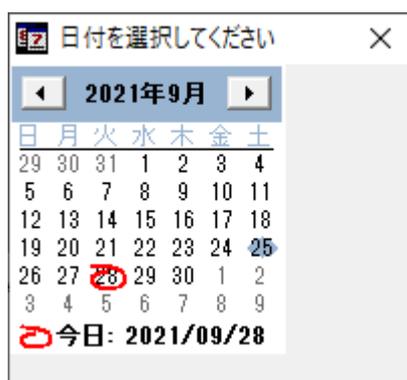


※複数行のデータを入力する際に、同一のコードを選択することを禁止している調査票がありますので、その場合エラーメッセージが表示され、選択が無効になります。

【日付入力】

日付入力では直接入力する方法と、該当欄を右クリックしてカレンダーから選択する方法があります。カレンダーが表示されたら、日付をクリックしてください。

カレンダーの表示例：



【数値入力】

数値入力では、直接入力を行います。1～99,999,999 までの数値を入力してください。

【行削除】

編集集中の行を削除する場合は、削除する行にカーソルを合わせて「Delete」キーを押してください。文字入力中の場合は Enter キーを押して一旦値を確定してから行ってください。

行を削除するか確認メッセージが表示されますので、これを選択してください。



※何も入力されていない一番下の行は削除できません。

5.3 《エラー画面の主な構成》

更新時にエラーが発生した場合は、保存を確認するメッセージが表示されます。これを保存することも可能ですし、保存せずにエラーを表示することも可能です。



上記のメッセージで「いいえ」を選択した場合の画面を説明いたします。



【エラーメッセージ表示画面】

緊急時情報入力プログラム - [原油船積計画]

7744(A) CSV入出力(C) ページ(V)

原油船積計画

企業名	資源エネルギー庁
作成者の氏名	赤坂 希
作成者の職名	システム
電話番号	0335011511
作成年月日	2021/10/28
更新日時	2021/10/26 09:44:58

油種名称	コード	船積完了予定年	船積完了予定月	船積完了予定日	船積数量(t)	積出港	積出港C	船舶名称	船舶名称C	送主	送主C	原供給者
ABU	11810	2021	10	21	5000	AIRLIE	60118	AKIKAWA M	4017		2	ADNOC
AKPO	52415	2021	10	27		ALAGA	23404	AKATSUKI M	3014	ACADA	728	AMOCO

②

エラーメッセージ

個票名	タイトル	行	列	エラーメッセージ
原油船積計画	原油船積計画	11行目	送主コード	送主コードが不正です
原油船積計画	原油船積計画	21行目	船積数量	船積数量が不正です

① エラーウインドウ

エラーの内容と場所を表示します。クリックするとエラー箇所へフォーカスを移動します。

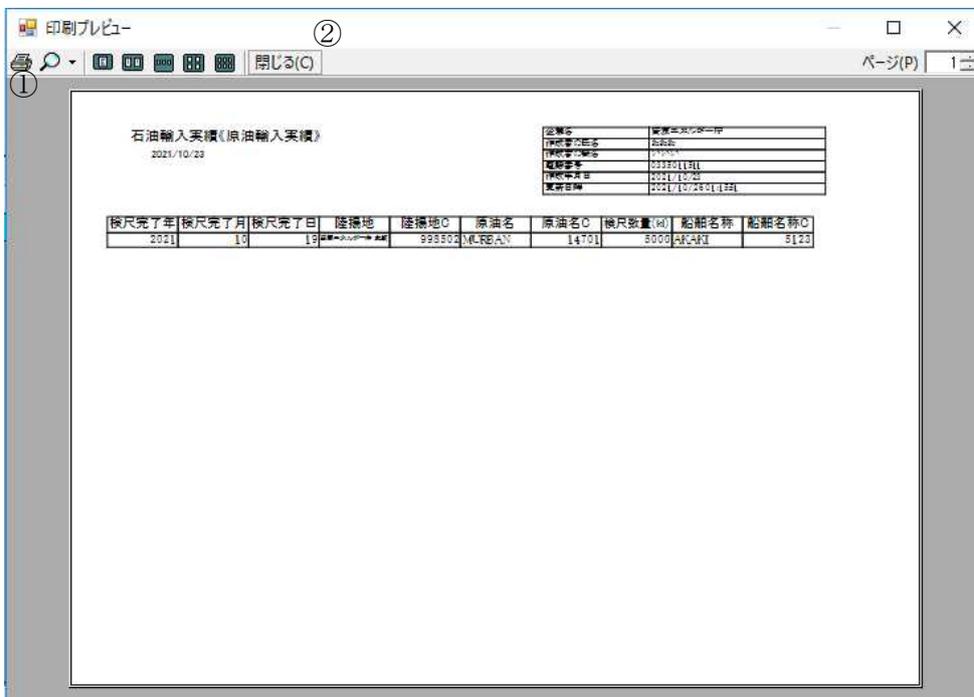
② 入力欄

エラーが発生している箇所の背景色を変更します。編集可能です。

5.4 《印刷プレビュー画面の主な構成》

各調査票画面の印刷ボタンから本画面を呼び出します。

<印刷プレビュー画面>



- ①印刷ボタン プリンタに現在の内容を出力します
- ②閉じるボタン 印刷プレビューを終了して、調査票画面に戻ります。

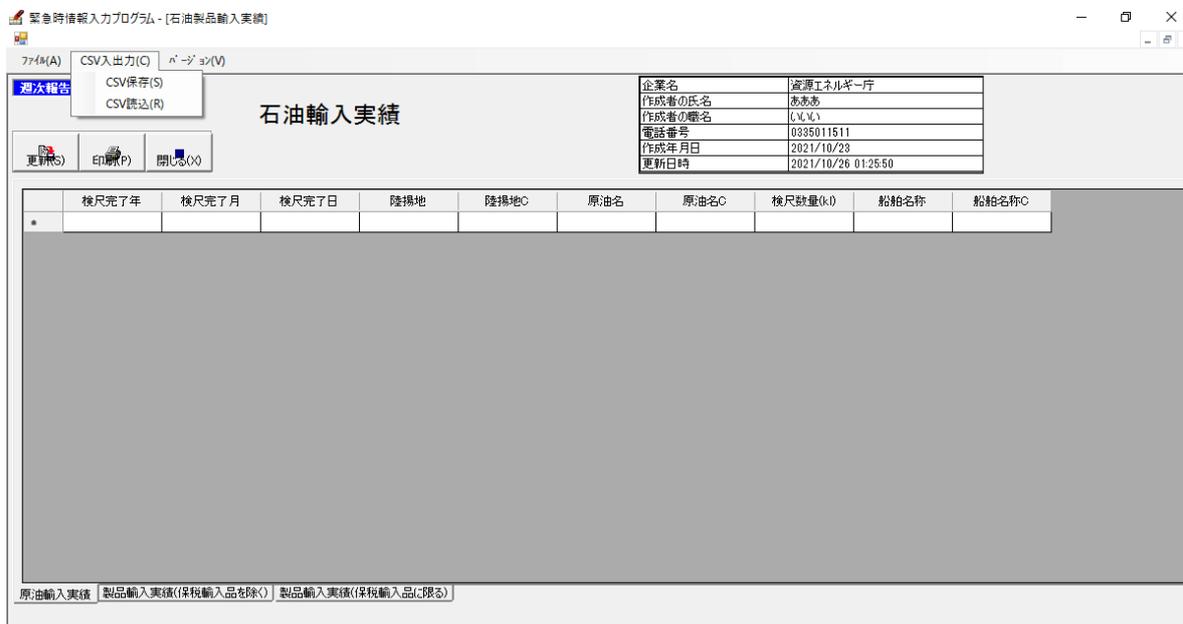
5.5 《バージョン確認画面の主な構成》

メニューでバージョンを選択すると、現在使用しているプログラムのバージョン情報がご覧いただけます。



5.6 《CSVファイルの入出力》

各調査票の編集画面へ遷移すると、csv 入出力ボタンが使用可能です。



csv 入出力機能の仕様は以下の通りです。

- ①CSV保存
現在表示している調査票をCSV形式で保存します。
ファイルの保存ダイアログが表示されますので、ファイルの名前と保存する場所を選択してください。
保存するデータの形式は、各調査票の出力フォーマットと同一ですが、ヘッダは出力されません。
- ②CSV読込
現在表示している調査票画面にCSVファイルの読み込みを行います。ファイルの選択ダイアログが表示されますので、読み込むファイルの選択を行ってください。
現在表示している調査票のデータはクリアしてから、読み込みを行います。※更新ボタンを実行しないとデータは確定しません。
油槽所等石油製品・半製品在庫量のデータを読み込む際は、データ部の日付（前週末等）は、現在の画面の日付に変更して読み込みます。

6. 各調査票入力画面

6.1 原油船積計画《週次》

入力項目名	必須	入力条件
油種コード	○	直接入力又は原油コードファイルから選択、5バイト
船積予定日（年、月、日）	○	8バイト
船積数量（単位：b）	○	1～99,999,999 以外はエラー
積出港		直接入力又は積出港コードファイルから選択、5バイト
船舶名称		直接入力又はタカ・コードファイルから選択、4バイト
送主		直接入力又は送主・原供給者コードファイルから選択、3バイト
原供給者		直接入力又は送主・原供給者コードファイルから選択、3バイト
到着予定日（年、月、日）		8バイト：到着予定日が入っている場合、（到着予定日 > 船積完了日） 以外はエラー
到着予定地		直接入力又は企業・事業所コードファイルから選択、6バイト

6.2 石油ガス船積計画《週次》

緊急時情報入力プログラム - (石油ガス船積計画)

ファイル(A) CSV入出力(C) ヘルプ(H)

週次報告

石油ガス船積計画

企業名	資源エネルギー庁
作成者の氏名	赤松
作成者の職名	CA
業務番号	0335011511
作成年月日	2021/10/23
更新日時	2021/10/26 01:38:24

更新(S) 印刷(P) 閉じる(X)

名称	コード	船積完了予定年	船積完了予定月	船積完了予定日	船積数量(t)	積出港	積出港C	船舶名称	船舶名称C	送主	送主C	原供給者

石油ガス船積計画

入力項目名	必須	入力条件
製品コード	○	直接入力又は製品コードファイルから選択、5バイト
船積予定日（年、月、日）	○	8バイト
船積数量（単位：t）	○	1～99,999,999 以外はエラー
積出港		直接入力又は積出港コードファイルから選択、5バイト
船舶名称		直接入力又はタンカー・コードファイルから選択、4バイト
送主		直接入力又は送主・原供給者コードファイルから選択、3バイト
原供給者		直接入力又は送主・原供給者コードファイルから選択、3バイト
到着予定日（年、月、日）		8バイト：到着予定日が入っている場合、（到着予定日 > 船積完了日） 以外はエラー
到着予定地		直接入力又は企業・事業所コードファイルから選択、6バイト

6.3 原油船舶輸送状況《週次・日次》

緊急時情報入力プログラム - [原油船舶輸送状況]

ファイル(A) CSV入出力(C) ページ表示(V)

週次報告

原油船舶輸送状況

企業名	資源エネルギー庁
作成者の氏名	あさあ
作成者の職名	〇〇〇〇
電話番号	0335011511
作成年月日	2021/10/23
更新日時	2021/10/28 01:38:35

更新(S) 印刷(P) 閉じる(X)

油種名称	油種コード	船積完了年	船積完了月	船積完了日	船積数量(b)	積出港	積出港C	船舶名称	船舶名称C	送主	送主C	原供給者
[Table content is mostly blank in the screenshot]												

原油船舶輸送状況

入力項目名	必須	入力条件
油種コード	○	直接入力又は原油コードファイルから選択、5バイト
船積予定日（年、月、日）	○	8バイト
船積数量（単位：b）	○	1～99,999,999 以外はエラー
積出港		直接入力又は積出港コードファイルから選択、5バイト
船舶名称		直接入力又はタンカー・コードファイルから選択、4バイト
送主		直接入力又は送主・原供給者コードファイルから選択、3バイト
原供給者		直接入力又は送主・原供給者コードファイルから選択、3バイト
到着予定日（年、月、日）		8バイト：到着予定日が入っている場合、（到着予定日 > 船積完了日） 以外はエラー
到着予定地		直接入力又は企業・事業所コードファイルから選択、6バイト
船舶現在位置コード		数値（1～6）1バイト。同一船舶なら位置コードを反映

6.4 石油ガス船舶輸送状況《週次・日次》

緊急時情報入力プログラム - [石油ガス船舶輸送状況]

ファイル(A) CSV入出力(C) ヘルプ(V)

週次報告

石油ガス船舶輸送状況

更新(S) 印刷(P) 閉じる(X)

企業名	資源エネルギー庁
作成者の氏名	あさあ
作成者の職名	システム
電話番号	0335011511
作成年月日	2021/10/28
更新日時	2021/10/28 01:40:20

製品名称	製品コード	船積完了年	船積完了月	船積完了日	船積数量(t)	積出港	積出港C	船舶名称	船舶名称C	送主	送主C	原供給者

石油ガス船舶輸送状況

入力項目名	必須	入力条件
製品コード	○	直接入力又は製品コードファイルから選択、5バイト
船積予定日（年、月、日）	○	8バイト
船積数量（単位：b）	○	1～99,999,999 以外はエラー
積出港		直接入力又は積出港コードファイルから選択、5バイト
船舶名称		直接入力又はタンカー・コードファイルから選択、4バイト
送主		直接入力又は送主・原供給者コードファイルから選択、3バイト
原供給者		直接入力又は送主・原供給者コードファイルから選択、3バイト
到着予定日（年、月、日）		8バイト：到着予定日が入っている場合、（到着予定日 > 船積完了日） 以外はエラー
到着予定地		直接入力又は企業・事業所コードファイルから選択、6バイト
船舶現在位置コード		数値（1～6）1バイト。同一船舶なら位置コードを反映

6.5 石油輸入実績《週次・日次》

《原油輸入実績》

緊急時情報入力プログラム - [石油製品輸入実績]

ファイル(A) CSV入出力(C) ヘルプ(H)

週次報告

石油輸入実績

更新(S) 印刷(P) 閉じる(X)

企業名	深澤エネルギー庁
作成者の氏名	志志志
作成者の職名	CLL
電話番号	0385011511
作成年月日	2021/10/23
更新日時	2021/10/26 01:41:05

検尺完了年	検尺完了月	検尺完了日	陸揚地	陸揚地C	原油名	原油名C	検尺数量(t)	船舶名称	船舶名称C
*									

原油輸入実績 | 製品輸入実績(保税輸入品を除く) | 製品輸入実績(保税輸入品に限る)

入力項目名	必須	入力条件
検尺完了日（年、月、日）	○	8バイト
陸揚地	○	直接入力又は企業・事業所コードファイルから選択、6バイト
原油名	○	直接入力又は原油コードファイルから選択、5バイト
検尺数量	○	1～99,999,999
船舶名称		直接入力又はタンカー・コードファイルから選択、4バイト

《製品輸入実績（保税輸入品を除く）》

緊急時情報入力プログラム - [石油製品輸入実績]

7/4/4(A) CSV入出力(O) ヘルプ(V)

週次報告

石油輸入実績

企業名	資源エネルギー庁
作成者の氏名	赤坂あ
作成者の職名	(X.X)
電話番号	0355011511
作成年月日	2021/10/28
更新日時	2021/10/28 01:50:58

検尺完了年	検尺完了月	検尺完了日	陸揚地	陸揚地C	製品名	製品名C	輸入量(t)	船舶名称	船舶名称C

入力項目名	必須	入力条件
検尺完了日（年、月、日）	○	8バイト
陸揚地	○	直接入力又は企業・事業所コードファイルから選択、6バイト
製品名	○	直接入力又は製品油種コードファイルから選択、5バイト
輸入量	○	1～99,999,999
船舶名称		直接入力又はタンカー・コードファイルから選択、4バイト

《製品輸入実績（保税輸入品に限る）》

緊急時情報入力プログラム - [石油製品輸入実績]

ファイル(A) CSV入出力(C) ページ(V)

週次報告

石油輸入実績

企業名	資源エネルギー庁
作成者の氏名	あおき
作成者の職名	【なし】
電話番号	0335011511
作成年月日	2021/10/29
更新日時	2021/10/26 01:50:58

検尺完了年	検尺完了月	検尺完了日	陸揚地	陸揚地C	製品名	製品名C	輸入量(k)	船舶名称	船舶名称C
<div style="background-color: #cccccc; width: 100%; height: 100%;"></div>									

[原油輸入実績](#) | [製品輸入実績\(保税輸入品を除く\)](#) | [製品輸入実績\(保税輸入品に限る\)](#)

入力項目名	必須	入力条件
検尺完了日（年、月、日）	<input type="radio"/>	8バイト
陸揚地	<input type="radio"/>	直接入力又は企業・事業所コードファイルから選択、6バイト
製品名	<input type="radio"/>	直接入力又は製品油種コードファイルから選択、5バイト
輸入量	<input type="radio"/>	1～99,999,999
船舶名称	<input type="radio"/>	直接入力又はタンカー・コードファイルから選択、4バイト

6.6 石油輸出実績《週次・日次》

《原油輸出実績》

緊急時情報入力プログラム - [石油製品輸出実績]

ファイル(A) CSV入出力(C) ヘルプ(H)

週次報告

石油輸出実績

企業名	資源エネルギー庁
作成者の氏名	志保孝
作成者の職名	LMN
電話番号	0335011511
作成年月日	2021/10/23
更新日時	2021/10/26 01:42:06

更新(S) 印刷(P) 閉じる(C)

輸出年	輸出月	輸出日	積出地	積出地C	原油名	原油名C	輸出量(K)	輸出先	輸出先C
*									

原油輸出実績 | 製品輸出実績(保税輸出品を除く) | 製品輸出実績(保税輸出品に限る)

入力項目名	必須	入力条件
輸出日（年、月、日）	○	8バイト
積出地	○	直接入力又は企業・事業所コードファイルから選択、6バイト
原油名	○	直接入力又は原油コードファイルから選択、5バイト
輸出量	○	1～99,999,999
輸出先		直接入力又は国・地域コードファイルからの選択、3バイト

《製品輸出実績（保税輸出品を除く）》

緊急時情報入力プログラム - [石油製品輸出実績]

ファイル(A) CSV入出力(C) ヘルプ(H)

進捗報告

石油輸出実績

企業名	資源エネルギー庁
作成者の氏名	赤坂 孝
作成者の職名	(株)M&A
電話番号	0335011511
作成年月日	2021/10/23
更新日時	2021/10/26 01:54:39

輸出年	輸出月	輸出日	積出地	積出地C	製品名	製品名C	輸出量(K)	輸出先	輸出先C
*									

入力項目名	必須	入力条件
輸出日（年、月、日）	○	8バイト
積出地	○	直接入力又は企業・事業所コードファイルから選択、6バイト
製品名	○	直接入力又は製品油種コードファイルから選択、5バイト
輸出量	○	1～99,999,999
輸出先		直接入力又は国・地域コードファイルからの選択、3バイト

《製品輸出実績（保税輸出品に限る）》

緊急時情報入力プログラム - (石油製品輸出実績)

ファイル(A) CSV入出力(O) ヘルプ(V)

週次報告

石油輸出実績

企業名	資源エネルギー庁
作成者の氏名	赤松 浩
作成者の権名	LCCL
電話番号	0335011511
作成年月日	2021/10/28
更新日時	2021/10/26 01:54:39

輸出年	輸出月	輸出日	製品名	製品名C	輸出力
*					0.0

入力項目名	必須	入力条件
輸出日（年、月、日）	<input type="radio"/>	8バイト、新規入力時にデータ報告年月日を挿入
製品名	<input type="radio"/>	直接入力又は製品油種コードファイルから選択、5バイト
輸出力	<input type="radio"/>	1～99,999,999

6.7 製油所原油処理・生産・受入・払出量《週次》

緊急時情報入力プログラム - [製油所原油処理]

ファイル(A) CSV入出力(C) ヘルプ(H)

週次報告

製油所原油処理

企業名	資源エネルギー庁
作成者の氏名	香森 亮
作成者の職名	システム
電話番号	0335011511
作成年月日	2021/10/23
更新日時	2021/10/26 01:42:42

更新(S) 印刷(P) 閉じる(C)

製油所名	コード	原油(kl)	ガソリン(kl)	ナフサ(kl)	ジェット燃料油(kl)	灯油(kl)	軽油(kl)	A重油(kl)	B・C重油(kl)	燃料油計(kl)	P・P、P・B(t)	E
		処理量										
		生産量										
		受入量										
		払出量										

備考 占有権ベースで記載すること 生産量は自家使用分を含むこと

製油所原油処理量・生産量・受入量

入力項目名	必須	入力条件
製油所名	○	事業所コード、直接入力又は企業・事業所コードファイルからの選択、3バイト(ファイル出力時に6バイト)
処理量		1~99,999,999原油のみ(単位:k1)
生産量		生産量、受入量、払出量については共通。 1~99,999,999
受入量		[ガソリン、ナフサ、ジェット燃料油、灯油、軽油、A重油およびB・C重油]の燃料油計を計算する(単位:k1)。P・P、P・B、B・B(単位:t)
払出量		

製油所名以外に何も入力されていなければ、エラー。

製油所名が重複していれば、エラー。

事業所の数は最大80事業所とする。

6.8 油槽所等石油製品・半製品在庫量《週次》

緊急時情報入力プログラム - [油槽所等石油在庫]

ファイル(A) CSV入出力(C) ヘルプ(V)

週次報告

油槽所等石油在庫

企業名	資源エネルギー庁
作成者の氏名	あああ
作成者の職名	じじじ
電話番号	0355011511
作成年月日	2021/10/23
更新日時	2021/10/26 01:44:41

油槽所等名	コード	ガソリン(kl)	ナフサ(kl)	ジェット燃料油(kl)	灯油(kl)	軽油(kl)	A重油(kl)	B・C重油(kl)	燃料油計(kl)	P・P、P・B(t)	B・B(t)	粗ガソリン(kl)
備考: 精製業者、輸入業者及び特定販売業者が保有する油槽所等(製油所等を除く)												

前週末(2021年10月23日時点) 前々週末(2021年10月16日時点) 前月末(2021年09月30日時点) 前々月末(2021年08月31日時点)

入力項目名	必須	入力条件
事業所	○	事業所コード、直接入力又は企業・事業所コードファイルからの選択、3バイト(ファイル出力時に6バイト)
製品		[ガソリン、ナフサ、ジェット燃料油、灯油、軽油、A重油、B・C重油]、[燃料油計] (単位:k1) [P・P、P・B、B・B] (単位:t)
半製品		[粗ガソリン、粗灯油、粗軽油、粗重油]、[合計] (単位:k1)

事業所以外に何も入力されていなければ、エラー。

事業所が重複していれば、エラー。

事業所の数は最大80事業所とする。

[燃料油計]、[合計]は自動集計する。

6.9 製油所等石油在庫量《週次》

緊急時情報入力プログラム - (製油所等石油在庫)

774(A) CSV入出力(C) バージョン(V)

週次報告

製油所等石油在庫

企業名	資源エネルギー庁
作成者の氏名	あまあ
作成者の職名	じくじ
電話番号	0335011511
作成年月日	2021/10/28
更新日時	2021/10/28 01:43:42

製油所等名	コード	原油(kl)	ガソリン(kl)	ナフサ(kl)	ジェット燃料油(kl)	灯油(kl)	軽油(kl)	A重油(kl)	B・C重油(kl)	燃料油計(kl)	P・P、P・B(t)	B・B(t)
<div style="text-align: center; font-size: small;">備考: 占有権ベースで記載すること</div>												

前週末(2021年10月28日時点) | 前々週末(2021年10月16日時点)

入力項目名	必須	入力条件
事業所	○	事業所コード、直接入力又は企業・事業所コードファイルからの選択、3バイト(ファイル出力時に6バイト)
製品		[ガソリン、ナフサ、ジェット燃料油、灯油、軽油、A重油、B・C重油]、[燃料油計] (単位: kl) [P・P、P・B、B・B] (単位: t)
半製品		[粗ガソリン、粗灯油、粗軽油、粗重油]、[合計] (単位: kl)

事業所以外に何も入力されていない場合は、エラー。

事業所が重複していれば、エラー。

事業所の数は最大80事業所とする。

[燃料油計]、[合計]は自動集計する。

6.10 製油所等原油処理・石油在庫量《日次》

緊急時情報入力プログラム - [製油所等原油処理・石油在庫量]

ファイル(A) CSV入出力(C) ページ(V)

日次報告

製油所等原油処理・石油在庫量

企業名	資源エネルギー庁
作成者の氏名	あああ
作成者の職名	〇〇〇〇
電話番号	035011511
作成年月日	2021/10/26
更新日時	2021/10/26 01:45:28

製油所等名	コード	原油処理(kl)	原油在庫(kl)	ガソリン(kl)	ナフサ(kl)	ジェット燃料油(kl)	灯油(kl)	軽油(kl)	A重油(kl)	B・C重油(kl)	燃料油計(kl)	P・P、P・B(kl)
[Table content is mostly obscured by a grey box in the image]												

備考: 占有権 ベースで記載すること

原油輸入基地を含む実績

入力項目名	必須	入力条件
事業所	○	事業所コード、直接入力又は企業・事業所コードファイルからの選択、3バイト(ファイル出力時に6バイト)
原油		1~99,999,999 (単位:kl)
製品		[ガソリン、ナフサ、ジェット燃料油、灯油、軽油、A重油、B・C重油]、[燃料油計] (単位:kl) [P・P、P・B、B・B] (単位:t)
半製品		[粗ガソリン、粗灯油、粗軽油、粗重油]、[合計] (単位:kl)

事業所以外に何も入力されていなければ、エラー。

事業所が重複していれば、エラー。

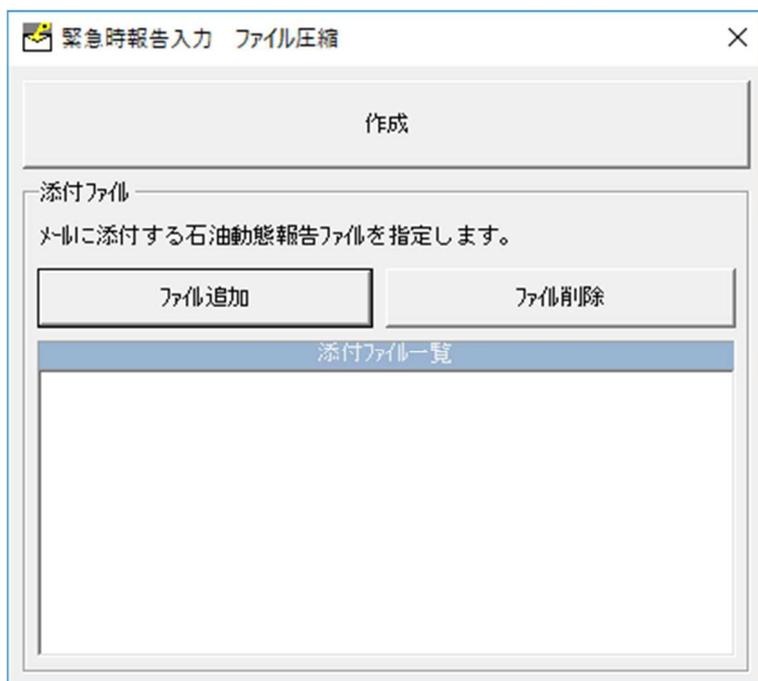
事業所の数は最大80事業所とする。

[燃料油計]、[合計]は自動集計する。

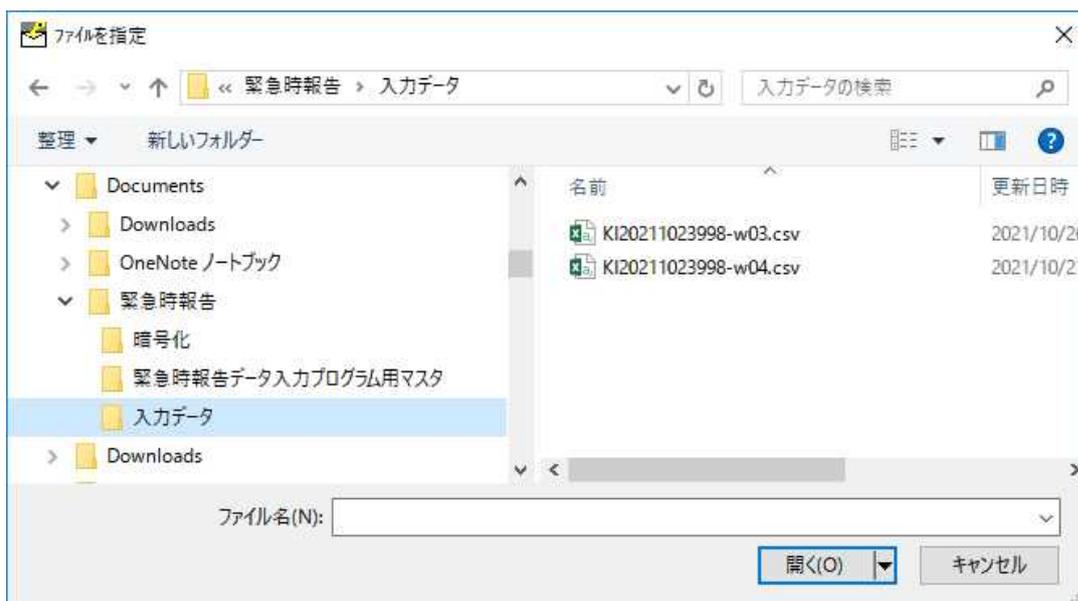
7. 圧縮機能

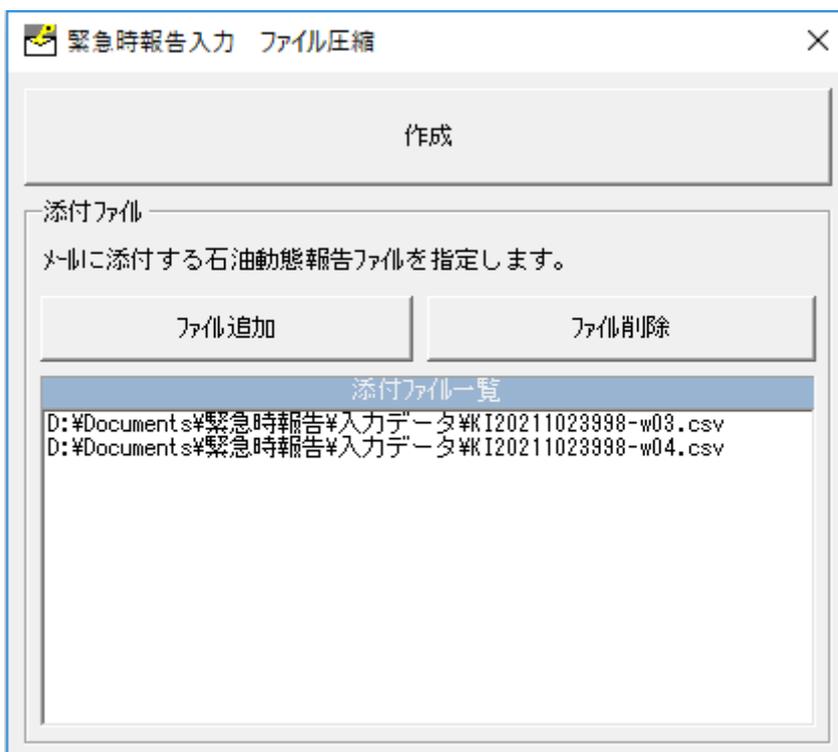
作成したCSVファイルより暗号化ファイルを作成します。

メイン画面の左下の「圧縮機能」をクリックすると、ファイル圧縮画面が出ます。



ファイル追加ボタンをクリックし選択ダイアログから送信したいファイルを選択します。複数ファイル選択可能です。



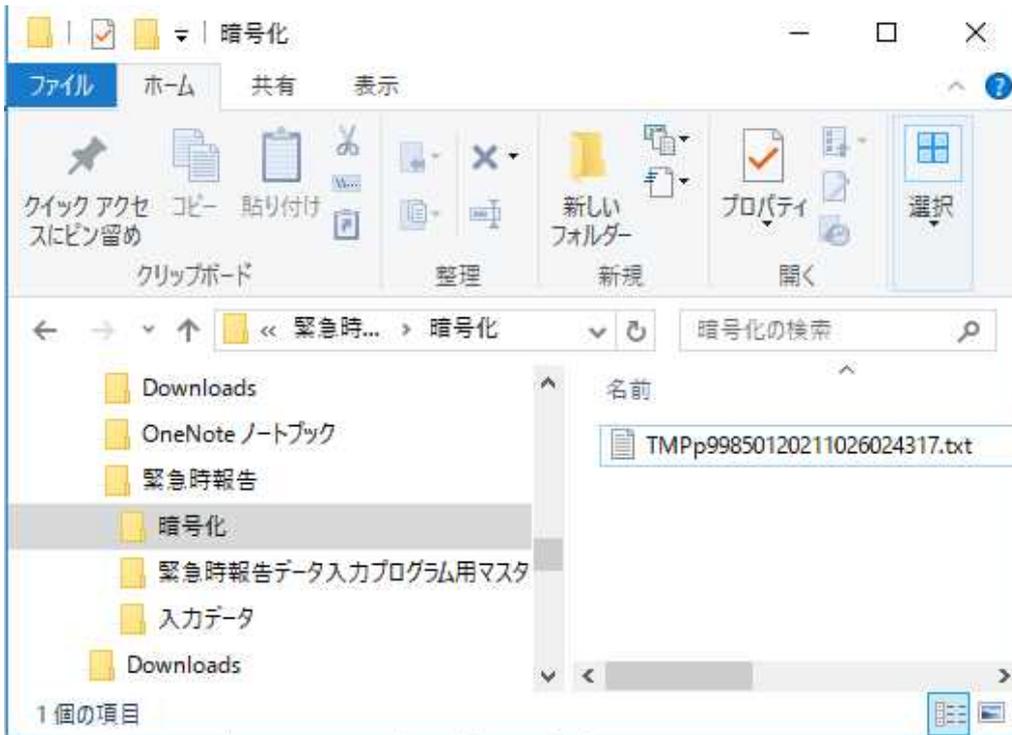


添付ファイル一覧に選択したファイルが表示されますので、作成ボタンをクリックします。



正常に作成されると通知が出ます。OKで閉じます。

「ファイル削除」ボタンは添付ファイル一覧から選択してクリックすることで一覧から削除されます。



基本設定画面（P8）で設定した「ユーザー設定」の「作業フォルダ」に暗号化されたファイルが作成されていますので、同ファイルを資源エネルギー庁までメールにて送って下さい。

ファイル名は「TMP・・・・・・・・・・」

8. メール送信画面

圧縮した暗号化ファイルを直接送信する方法です。

メイン画面の左下の「メール送信」をクリックすると、ファイル圧縮画面が出ます。手順は7. と同じです。最後に「送信」をクリックすると、作成された暗号化ファイルが資源エネルギー庁に直接メールされます。

